

タイの工業団地について その2～バンコク中心部より北部～



前回に続き、工業団地についてレポートします。今回は、バンコク中心部より北部地域の工業団地の特徴を紹介します。

【バンコク中心部より北部地域の特徴】

1 製造業の割合が高い

入居企業の業種は製造業の割合が高く、バンコク周辺地域、東部地域に次いで3番目の製造拠点地域になっており、アユタヤ地域を中心として、電気、電子、また自動車製造関連でもホンダを中心とした企業が多く集積しています。

2 インフラの整備が充実

アユタヤまでの道路は十分に整備されており、バンコクから高速道路を利用するとスムーズな移動が可能です。また、以前までの主要国際空港であったドンムアン空港より距離は遠くなりますが、現在タイの第一国際空港のスワンナプーム空港まで高速道路が接続しており1時間程度で移動できます。

3 雇用に課題

バンコクより北部地域は、進出企業の増加、工場の拡張に伴い、ワーカーの採用に苦勞する企業が多くなっています。マネージャーやエンジニアの採用は、人材派遣会社を通じて雇用することが多くなっていますが、3年程度で転職する人が多く、他の地域の工業団地と同様に離職率が高いという問題があります。

4 賃金が低め

アユタヤ地域の賃金は、バンコク周辺や東部地域の賃金よりも低くなっていますが、最低賃金の引き上げにより、他の地域と同程度の賃金体系になりつつあります。

バンコク中心部から北部地域は以上のような特徴があります。バンコクから比較的近く日系企業にとって魅力的な場所に位置するため、入居を希望する企業が多いですが、中小企業の規模に適した土地はあまり空いていない状態が続いています。

以下に大企業が多く入居している主な工業団地を紹介します。

【ナワナコン工業団地】

ナワナコン工業団地はバンコクから高速道路で約45分（中心地から45km）と近く、東部のチョンブリー地域などにも幹線道路が整備されています。

この工業団地は、1971年にタイ初の工業団地として開設され、現在入居している企業数は200社以上で、半数を日系企業が占め25万人以上が働いています。

<主な日系入居企業>

- サイアム・クボタ（トラクタ）
- セイコー（時計）
- フジクラ（電線）
- カシオ（時計）
- トステム（アルミニウム）など

【ロジャナ工業団地】

ロジャナ工業団地はバンコクから高速道路で約1時間15分（中心地から70km）の場所に位置し、タイの財閥ヴィニチュブルグループと日鉄住金物産との合弁企業が運営しています。また、工業団地の運営のほかに、ロジャナ・パワー社が発電事業（天然ガス）を営んでおり、太陽光発電プラント整備の計画などもあります。

この工業団地は1988年に開設し、現在200社以上が入居しています。団地内にはサービスアパートもあり、長期滞在も可能な環境が整っています。

<主な日系入居企業>

- ホンダ（自動車）
- ニコン（カメラ）
- 日本ハム（食品）
- TDK（音響機器）

【ハイテク工業団地】

ハイテク工業団地はバンコクからは約1時間（中心地から60km）の場所に位置し、スワンナプーム国際空港までの所要時間も約1時間です。チャオプラヤ川を利用しクロントイ港まで水運も可能です。

この工業団地は1989年にタイ工業団地公社により開発された中規模の工業団地で、120社以上が入居しており約6万人が働いています。

<主な日系入居企業>

味の素（冷凍食品）

ミクニ（二輪車）

千代田インテグレ（自動車部品）など

次回は、<バンコク中心部より東部地域>の工業団地の特徴をレポートいたします。

【岡山県タイビジネスサポートデスク】

<<日本国内デスク（株式会社アークビジネスサーチ内）>>

【所在地】：東京都千代田区神田小川町1-11-8 大竹ビル7階

【担当者】：志賀 敦（しが あつし）

<<タイ/バンコク現地デスク（ARK ENTERPRISE CO., LTD. 内）>>

【所在地】：138 Boonmitr Bldg., 3rd Floor, Rm. A2, Silom Rd., Suriyawong, Bangrak
Bangkok, 10500 Thailand

【担当者】：福田 淳（ふくだ じゅん）

※デスクのご利用にあたっては、まず岡山県産業企画課マーケティング推進室
(086-226-7365)へご相談ください。